

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町村名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
06341大石 田町	②学校と地域 の課題	05 その他	地域学校協働活動を積極的に 推進するため、学校間の交流 や地域住民と関わる機会を確 保する必要がある。	統括的な地域学校協働 活動推進員を中心に学 習支援を行ってきた。	これから小学校統合までの2年間、さらに 学校と地域の関わりを深め、より多くの町 民に参画していただけるような取り組みを 行う。 具体的例:学校行事や授業に参加可能な 地域人材・企業の確保、リスト化	地域人材の確保や見学場所、 移動手段等のコーディネートを行 うこと で、教員の業務負担が軽減され る。	教育委員会事務事業 点検・評価より 評価項目:地域学校協 働活動の積極的推進 5…できたとおもう 4…だいたいできたと思 う 3…どちらともいえない 2…あまりできなかったと思 わない 1…できなかった	4.0	そ の 他	4.2	3.9	02 本年度の目標値 を下回り、取組の工 夫・改善が求められ る ・統括的な地域学校協働活動推進員が中心となり、サンサン スタディ総合版での学校間の交流活動を行った。地域住民 が参加する活動についても学校と住民とのコーディネート を協働本部が行うことで、教員の負担が軽減された。 ・人材バンクを活用し、学校から相談や要望があった場合地 域人材の紹介を行った。 ・数値としては下がってしまったが、おおむねできていたとい う意見が多数であった。	https://www.town.oishida.yamagata.jp/life/kekokosodatekyouiku/kyouiku/kyouikuhausinn.htm

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。